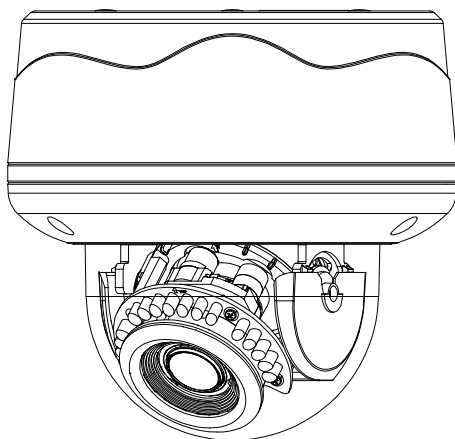




耐衝撃ドーム型 HD ネットワークカメラ

型名 **VN-H228VPR** **クイックユーザーガイド**



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「クイックユーザーガイド」と CD-ROM 内の「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか確かめください。

目次

はじめに	3
安全上のご注意	3
本書記載内容について	6
正しくお使いいただくためのご注意	7
製品概要	12
各部の名称とはたらき	12
設置・接続	15
添付物・付属品	15
設置	15
外観の確認	16
カメラの分解	16
ケーブル接続	17
カメラの取り付け	18
カメラの向き調整	25
ズーム・フォーカス調整	26
カメラの固定	26
ネットワーク構成	27
動作環境	27
接続	28
IP アドレス(工場出荷値)	28
コンピューター接続および画像確認の準備	28
管理・設定	32
SD カードについて	32
その他	32
こんなときは	33
保証とアフターサービス	34
保証書について	35

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前にこの「クイックユーザーガイド」と本項をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

絵表示について

このクイックユーザーガイドと製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています

絵表示の説明

- 注意（警告を含む）が必要なことを示す記号 ●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号 ●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号



一般的注意



感電注意



禁止



水場での使用禁止



接触禁止



電源プラグを抜く



一般的指示



分解禁止



水ぬれ禁止

- この「安全上のご注意」は、オーディオ、ビデオなど機器全般についての内容を記載していますので、お客様がお持ちの機器によっては、該当しない項目が含まれる場合があります。



警告

■ 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

火災や感電の原因となります。

・煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

・画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。

・内部に水や物が入ってしまったとき。

・落したり、キャビネットが破損したとき。

・電源ケーブルが傷んだとき。（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源をお切りください。

煙が出ているときは、止まったのを確かめてから販売店に修理を依頼してください。

お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。



■ 不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いた所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがをする原因となります。



■ 表示された電源電圧以外で使用しない

火災や感電の原因となります。



■ 船舶などの直流[DC]電源に接続しない

火災の原因となります。



■ トラックやバスなどのDC24V電源に接続しない

火災の原因となります。



警告

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

次のことに注意してください。

- ・押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- ・じゅうたんや布団の上に置かない。
- ・テーブルクロスなどを掛けない。
- ・横倒し、逆さまにしない。



■ 内部に物を入れない

通風孔やmicroSDカードスロットなどから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



■ この機器の（裏ぶた、カバー、キャビネット）は外したり、改造しない（設置時を除く）

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。



■ この機器の上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。



■ 風呂場など水のある場所で使わない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときはご注意ください。



■ 雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源ケーブルを加工しない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電源ケーブルの上に機器本体や重いものをのせない。
- ・電源ケーブルを熱器具に近づけない。



■ 接続する装置の消費電力の合計がACアウトレットに表示されている電力を超えて使わない

火災の原因となります。

この機器のACアウトレットが供給できる電力は制限されています。



注意

- **設置および配線工事には、経験と技術が必要なため、販売店に相談する**



- **次のような場所に置かない**

火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 湿気やほこりの多い所
- ・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- ・ 熱器具の近くなど
- ・ 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる所
- ・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所



- **この機器の上に重い物を置かない**

重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



- **この機器の上に乗らない、ぶら下がる**

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。



- **2～3年に一度は内部の掃除を販売店に依頼する**

内部にホコリがたまったらそのまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



- **お手入れするときは電源プラグを抜く**

感電の原因となることがあります。



- **聞き終わったら、電源を切る前に、音量を下げる（電子式ボリュームの場合）**

音量が上がっていると、電源を入れたとき突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



- **ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- **移動するときは、電源プラグや接続コード類を外す**

接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



- **転倒防止のため次のような処置をする**

地震などで転倒すると、けがの原因となることがあります。

- ・ 製品専用のテレビ台を使用するときは、テレビ台に付属している金具で固定する。
- ・ 壁または柱などに固定するときは、テレビ後面左右の穴を利用し、丈夫なひもなどで壁や柱に固定する。その際、柱や壁は確実に固定できる場所を選ぶ。

※ひも、ねじなどは市販品をご利用ください。



- **長時間、音がひずんだ状態で使わない**

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- **この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない**

頭からかぶると窒息の原因となります。



- **レンズを直接太陽に向けない**

太陽光など、強い光の当たる場所に置かないでください。光が焦点に集まって火災になる場合があります。



- **テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明書に従って接続する**

接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



本機に電源を供給するには、AC 24 V 50 Hz/60 Hz、または PoE を利用します。正しい電圧でお使いください。AC 24 V は必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください。定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにサービス窓口へ連絡してください。

定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合があります。

速やかにサービス窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows、Internet Explorer、ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel Core は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では TM、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 最新の取扱説明書・クイックユーザーガイドやファームウェアは、弊社ホームページの「ビジネス向け製品・サービス」にてご確認ください。
弊社ホームページ：<http://www3.jvckenwood.com/>

正しくお使いいただくためのご注意

■ 次のような場所に置かないでください。

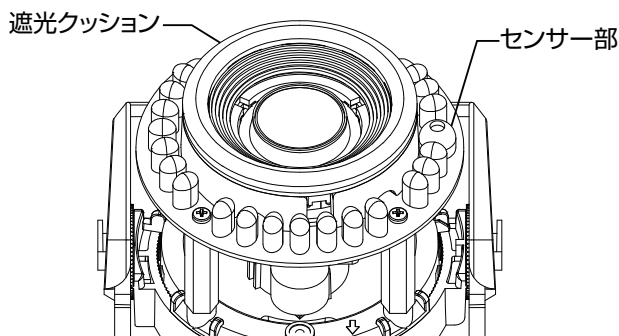
- 湿気やほこりの多いところ
- 厨房など蒸気や油分の多いところ
- 熱器具の近くなど
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たって温度が上がる場所
- 使用周囲温度範囲外の暑い場所や寒い場所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい場所
- 腐食性のガスが発生する場所
- 放射線や X 線、強い電波および強い磁気が発生する場所
- 振動、衝撃のある場所
- 砂の多い場所
- 蛍光灯の近くなど、不安定であったり明滅をする光源下
- 変圧器やモーターなど強い磁器が発生する場所
- トランシーバーや携帯電話など電波が発生する機器の近く
- プールなど薬剤を使用する場所

■ 保管および使用場所について

- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に 1 時間程度放置したあと、電源を入れてください。
- VN-H228VPR を -40 °C ～ 15 °C の環境下で電源を入れた場合、内蔵のヒーターによって内部が温まるまでのあいだ(最長 2 時間)は、カメラにアクセスできません。低温環境下では常時、通電して使用することを推奨いたします。
- VN-H228VPR は防塵・防水性能 IP66 ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

■ 赤外照明について

- 本機の赤外光を至近距離で直視しないでください。
- ドームカバーを定期的に清掃してください。汚れが付着していると、赤外光が映り込み画像が白く光って見えることがあります。
- 画像サイズを広角端で使用すると、画面の四隅に白い光が映る場合があります。ズームを少し望遠側に調節することで白い光が映らなくなります。
- 下記の状態になると、誤作動の原因となります。誤動作を起こす場合は、画角、メニュー設定 [カメラ] などを調節してください。
 - ・ センサー部が隠れる
 - ・ センサー部に強い光が当たる
 - ・ センサー部と被写体の明るさが大きく異なる
- 赤外光がレンズに直接入らないように遮光クッションがレンズに取り付けられています。調整後、ドームカバーを取り付けるとき、遮光クッションがテーパ(傾斜)側を上向きにして確実に取り付けられていることを確認してください。(下図参照)。遮光クッションが脱落したり、変形していると、赤外光がレンズに入り映像が白く光って見えることがあります。



■ お手入れについて

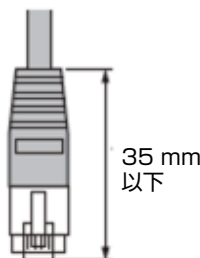
- 本機の汚れは乾いた柔らかい布などで取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、後でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。
- お手入れは、電源を切ってから行なってください。

■ 時計機能について

- 本機は電源を供給しない状態で約 36 時間経過すると時計が初期化されます。初めてお使いになる場合や、時計が初期化された場合は、時計の設定を行なってください。NTP サーバーを使用して自動的に時刻合わせを行なうことも可能です。時計を設定しなかった場合、ログ、SD カード記録およびメール送信の時刻情報が正しく表示されません。
- より正確な時刻で記録するために、時刻サーバー (NTP サーバー) のご使用をおすすめします。

■ LAN ケーブルについて

LAN ケーブルのコネクター部の寸法が 35 mm 以下のものを使用するか、モジュラーカバーをはずしてご使用ください。35 mm 以上のものを使用すると、ボトムケースを取り付けることができません。



■ microSD カードについて

- microSD カードは寿命のあるデバイスのため長期間の使用はお勧めできません。保存データの消失による損害は、弊社で一切の責任を負わないものとします。大切なデータはバックアップをお願いします。下記の条件によって microSD カードのデータを消失(破壊)することがあります。
 - microSD カードに電氣的・物理的なショックを与えたとき
 - データのアクセス中に microSD カードを取り出したり機器の電源を切ったりしたとき
 - microSD カードが寿命となったとき
- カメラ内部に物を入れないでください。microSD カードスロットに microSD カード以外の物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

■ ポートについて

使用するポート番号一覧

カメラでは下記のポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

ポート番号	用途
80	http
443	https
21	FTP
25	メール送信
554, 5000～5006, 5010, 5020, 6000～6006, 6010, 6020, 7000～7006, 7010, 7020	RTSP ストリーミング
31, 32, 41, 42, 51, 52, 61, 62, 71, 72	TCP/UDP 送信
1026, 1027, 1029, 1030	FCGI
32040	アラームイベント

■ ユーザー名とパスワードについて

- 工場出荷時のユーザー名とパスワードは、広く公開されているため変更せずに使用していると大変危険です。容易に推測されない文字と数字を組み合わせたユーザー名とパスワードに設定してください。
また、ユーザー名とパスワードは、定期的に変更してください。

■ 省エネについて

長時間使用しないときは、安全および節電のため電源を切ってください。

■著作権保護に関して

- お客様ご自身が、素材画像の著作権者であるか、または著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 被写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。
- 録画(録音)したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

■免責について

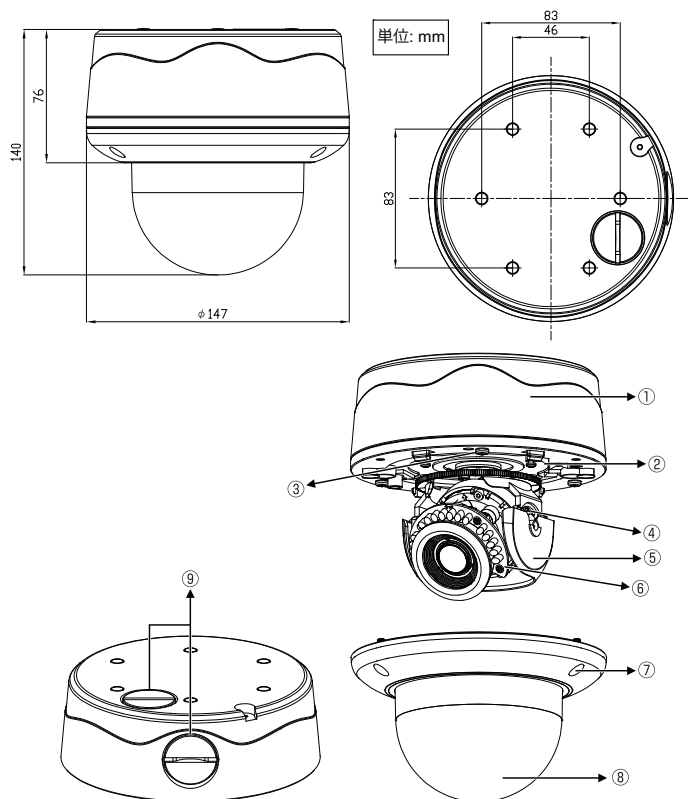
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- 動き検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した不便や障害に対する責任は一切負いません。
- CMOS 撮像素子を使用した本機はローリングシャッター方式の防犯カメラです。旋回台に搭載した撮影や動く被写体を撮影する場合に、建物の柱や被写体がゆがみ、実際とは違う画像が出力されます。

■その他

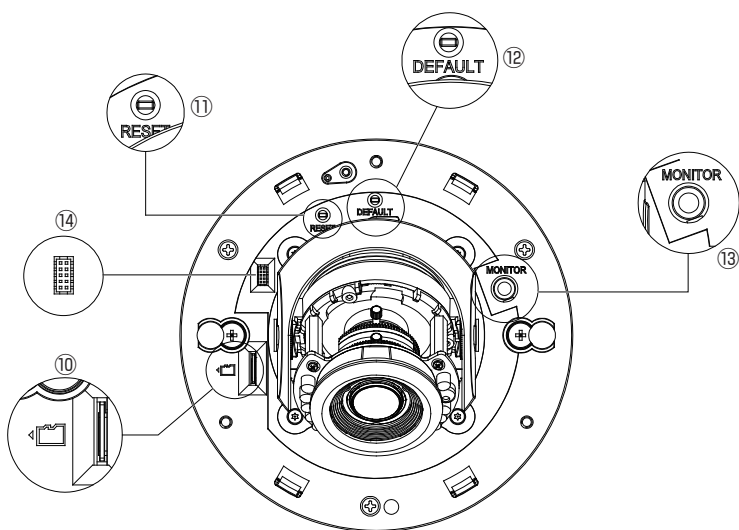
- 長時間非常に明るいライト等にレンズを近づけたままにしないでください。
- 動きのある被写体で残像が見える場合がありますが、故障ではありません。
- モニター出力使用時に、表示領域の広いモニターを用いた場合は画面の外周部に線が見えることがあります。
- 商用電源周波数 50 Hz の地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を軽減するため、露光設定を“フリッカーレス”に設定してご使用ください。
フリッカーレスに設定しても、非常に明るい照明環境下では、ちらつき(フリッカー)が発生することがあります。
- ハロゲンランプや電球など赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、本機の特性によるもので故障ではありません。
- 強い光源がある場合には、被写体が紫に近い色に映ることがありますが、本機の特性によるもので故障ではありません。

製品概要

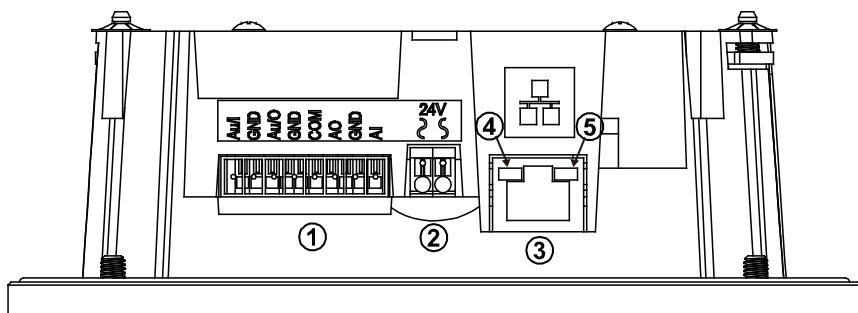
各部の名称とはたらき



番号	名称
①	ボトムケース
②	カメラユニット
③	カメラユニット取付ねじ(x3)
④	チルト調整ねじ
⑤	インナードーム
⑥	赤外照明部
⑦	ドームカバー取付ねじ(x3)
⑧	ドームカバー
⑨	スクリューホールプラグ(添付物、x1)



番号	名称	説明
⑩	microSD カード スロット	microSDHC または microSDXC カードを挿入してデータを保存できます。
⑪	RESET(再起動) ボタン	カメラを再起動します。
⑫	DEFAULT (フォーカスアシスト) ボタン	DEFAULT ボタンを押すと、フォーカスアシストモードになります。5 秒以上押し続けると、サービスモードになりますので 5 秒以上押し続けしないでください。
⑬	MONITOR	本機設置時の画角調節や、フォーカスを調節する場合に使用します。記録用には適しません。
⑭	サービス用コネクター	使用しません。



番号	名称	説明
①	I/O コネクター (AUDIO/ALARM)	付属のターミナルを用いて入出力機器を接続します。
②	電源端子	AC 24 V のみ入力可能です。
③	PoE (LAN ケーブル 接続) 端子	RJ-45 ケーブルでのネットワーク接続、または PoE 給電機からの電源供給接続に使用します。
④	LED (緑)	正しく接続されていると点灯します。
⑤	LED (橙)	カメラとインターネット間のデータ送受信時に点滅します。

	Au/I	Audio In : 音声入力
	GND	プラグインパワー方式対応のコンデンサマイクを接続します。
	Au/O	Audio Out : 音声出力
	GND	アンプ内蔵スピーカーを接続します。
	AO	Alarm Out :
	COM	アラーム出力
	AI	Alarm In :
	GND	アラーム入力

メモ

I/O コネクターや電源端子、およびフィールド配線はクラス 2 回路規格を遵守して、確実に発火を防止するとともに感電に対する保護措置を行なってください。

設置・接続

添付物・付属品

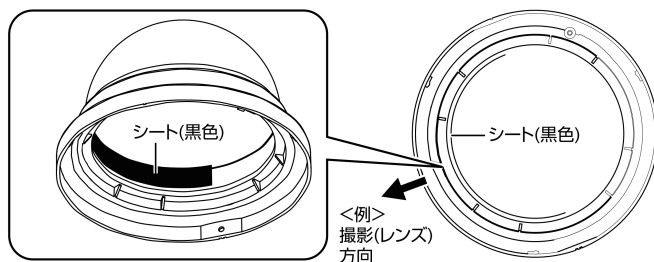
梱包内の機器や部品が一致していることを確認してください。

- クイックユーザーガイド × 1
- CD-ROM (JVC-VN 検索ツール、JVC-VN-IP 設定ツール、取扱説明書、クイックユーザーガイド、ネットワークカメラ API ガイド、取扱説明書 Readme を収録) × 1
- ターミナル × 1
- テンプレート × 2
- スクリュー × 4
- スクリューアンカー × 4
- レンチ × 1
- スクリューホールプラグ × 1
- シート × 1
- シリカゲル × 1
- テープ × 2

いずれかが同梱されていない場合は、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口までご連絡ください。

設置

- チルト 45°以上でローテーションさせて使用する場合、下図のように付属のシート(黒色)をドームカバー内部に貼り付けてください。このとき、ドームカバー内側の段差が隠れるようにシートを貼ってください。
シートを貼らないと、赤外光の反射によって映像が白く光って見えることがあります。



メモ

シートを貼るときは、撮影方向に対して、左右均等になるように貼ってください。

外観の確認

開封時、本機や付属品の外観に目視できる破損があるかどうか確認してください。

ご注意

- 壁または天井に取り付けるには特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとかげや事故の原因となります。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 天井の強度を確認ください。本機が落下する原因となります。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に補強を必ず行なってください。

カメラの分解

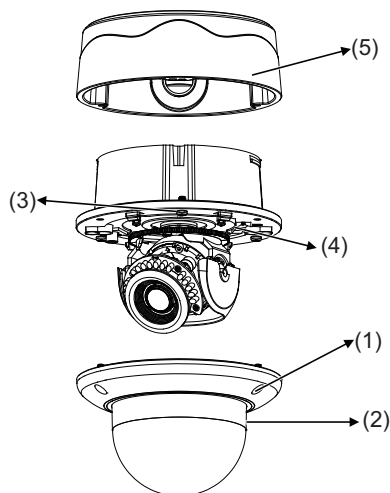
以下の手順と図をご覧になり正しく分解してください。

1. レンチ(付属)を使って、ドームカバー取付ねじ(3本)(1)を緩めます。
2. ドームカバー(2)を取りはずし、そっと置いてください。

ご注意

ドームカバーとカメラユニットの落下防止ラバーが接続されていますので、取りはずすには、ご注意願います。

3. カメラユニット取付ねじ(3本)(3)を緩めます。
4. ゆっくりとカメラユニット(4)を持ち上げボトムケース(5)から取りはずします。

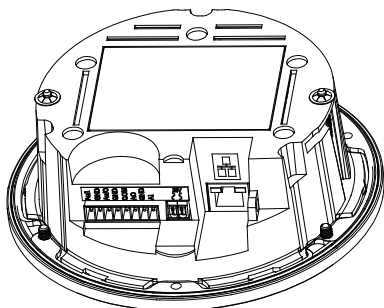


メモ

上の図ではドームカバーとカメラユニットを接続する落下防止ラバーを図示していません。

ケーブル接続

- 分解すると、I/O コネクタ、電源端子、PoE (LAN ケーブル接続) 端子はカメラユニットの裏面にあります。
- 以下のいずれかの方法で、電源端子に電源ケーブルを接続してください。
 - ・ 電源ケーブル AC 24 V を挿入する。24 V(～)ケーブルを(～)AC 24 V 端子に接続
 - ・ PoE(IEEE 802.3af クラス 0):PoE 端子に PoE と互換性のあるネットワーク機器に LAN ケーブルを通して接続することで電源が供給されます。
- LAN ケーブルで PoE ハブまたはパソコンに接続してください。必要に応じて、音声ケーブルおよびアラームケーブルを各コネクタに接続してください。
LAN ケーブルはカテゴリ 5e 以上で 100 m 以下のものを推奨いたします。また、UTP (シールド無し)を推奨いたします。
- I/O コネクタには付属のターミナルブロックを使用して接続を行います。
音声ケーブル、アラームケーブルは隣り合う端子の対 (Au/I-GND、Au/O-GND、AO-COM、AI-GND) で接続してください。
- ケーブル類はスクリーホール(底面または側面)から引き出してください。



ご注意

- 本機の破損を防止するため、同時に複数の電源(PoE(IEEE 802.3af クラス 0)、AC 24 V)に接続しないでください。
- ケーブルの引き出しに使用しないスクリーホール(底面または側面)は、スクリーホールプラグ(付属)で適切にふさいでください。

メモ

- 電源ケーブルについて(導体直径と最大接続距離の目安)

導体直径(mm)	φ 1.0 以上	φ 1.6 以上	φ 2.0 以上
最大接続距離(m)	90	240	370

- アラームケーブルは以下をご使用ください。
 - ・ 長さ 50 m 以下
 - ・ AWG28～AWG20 相当品
- 音声ケーブルは以下を推奨いたします。
 - ・ シールドケーブル
 - ・ 長さ 5 m 以下
- モニター出力に接続するケーブルは、減衰量の少ないケーブルの利用をお奨めします。

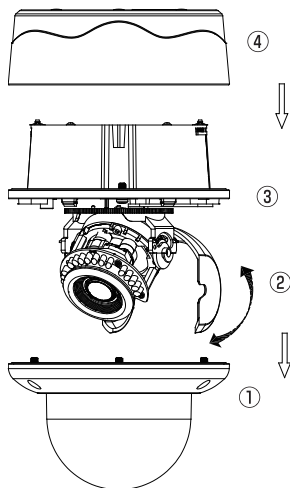
カメラの取り付け

- 壁または天井に取り付けるには特別な注意が必要です。
お客様による工事は避けて専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行なってください。
- 天井の強度を確認ください。
本機が落下する原因となります。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に補強を必ず行なってください。
- 本機の質量は、約 1.3 kg あります。落下には十分に注意して取り付け作業を行なってください。

ご注意 屋外及び軒下設置時、防水防塵性能を確保のため、ボトムケース無しで天井埋め込みしないでください。

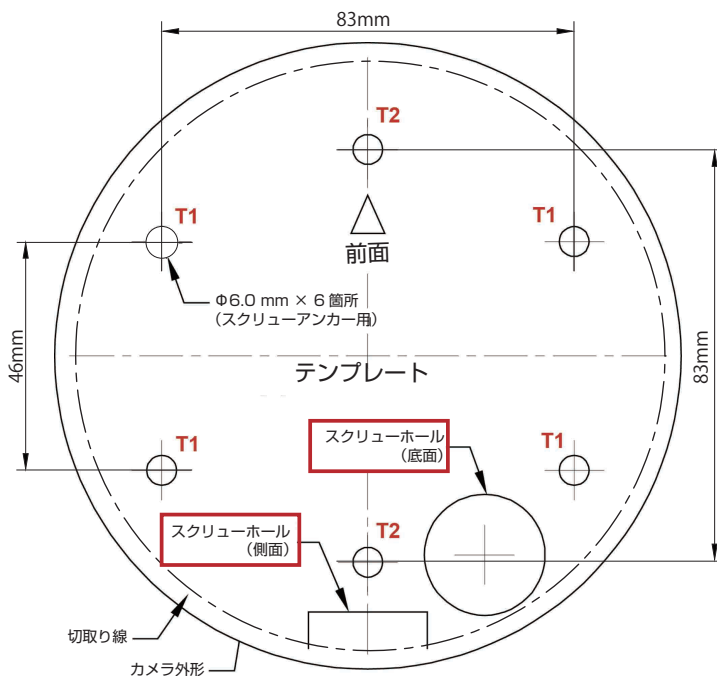
1. 分解の準備

- ドームカバーとインナードーム、ボトムケースを取りはずします。
 - ① レンチ(付属)を使ってドームカバーの3つのねじを緩めて(ねじは取らない)ドームカバーを取りはずします。
 - ② 緑色テープ(2箇所)を剥がし、インナードームを持ち上げて開きます。
 - ③ レンチ(付属)を使ってカメラユニットの3つのねじを緩めてカメラユニットを取りはずします。
 - 付属のレンチでドームカバー部を緩めてください。
 - ④ ボトムケースからカメラユニットを取りはずします。



2. 設置場所の決定

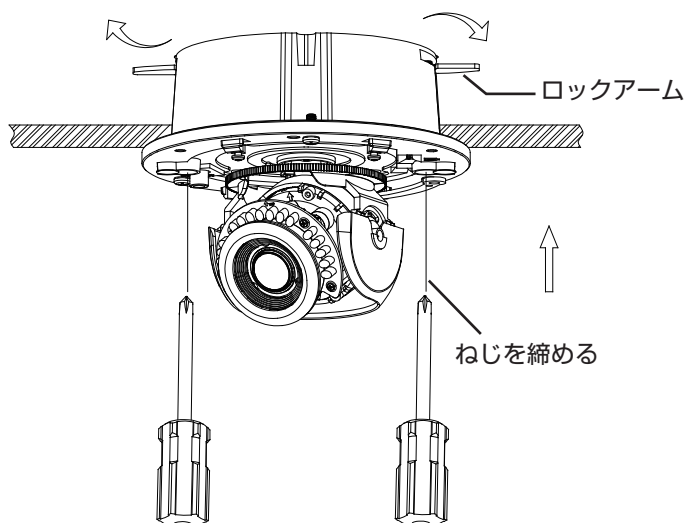
- 付属のテンプレートを使って設置場所にマークします。(壁面設置)
 - ① 設置場所に付属のテンプレートを配置して、テンプレートの T1/T2 の位置に直径 6 mm の穴を 4 箇所あけます。その後、あけた穴に付属のスクリーアンカー(4 個)を挿入します。(T1: シングルギャングソケット用、T2: ダブルギャングソケット用、壁面取り付けの場合)
 - ② ボトムケースのスクリーホール(底面)から配線する場合は、設置場所にテンプレートを配置してスクリーホールの位置に円形の穴をあけます。
 - ③ ボトムケースのスクリーホール(側面)から配線する場合は、設置場所に穴をあける必要はありません。スクリーホール(側面)は、設置するときにテンプレート上で向きを簡単に確認できます。



3. 取り付け方法

- 本機を所定の位置に固定するときは、次のいずれかの方法で設置してください。

方法 1: ロックアームで埋め込む場合



- ① 黒色のねじを時計回りに回してロックアームを広げます。
- ② 設置位置に合わせて、ねじを十分に締めるとロックアームが縮まり固定されます。
- ③ フォーカス位置は、カメラユニットを回転して撮影しながら調整します。カメラレンズを回転させるときは、停止位置の上では回転させないでください。
- ④ インナードームがカメラユニット上に収まった所で取り付けます。
- ⑤ カメラユニットとドームカバーの内側と上部にそれぞれに赤マークがあり、それを揃えて取り付けます。
- ⑥ ドームカバーの3つのねじを、レンチ(付属)を使用して締めて設置完了となります。

メモ

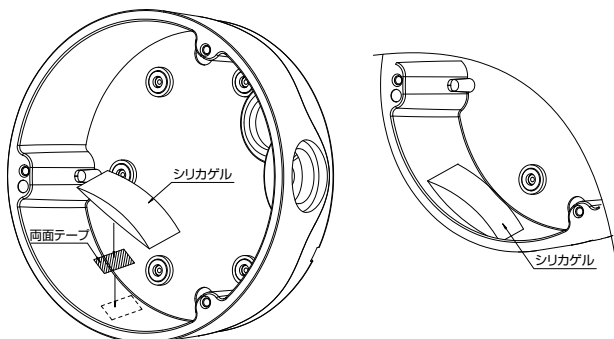
- 取り付けるときは、締めたロックアームに十分な強度のある設置場所を確保することをお勧めします。
- チルト 45°以上でローテーションさせて使用する場合、付属のシート(黒色)をドームカバー内部に貼り付けてください。このとき、ドームカバー内側の段差が隠れるようにシートを貼ってください。シートを貼らないと、赤外光の反射によって映像が白く光って見えることがあります。

ご注意

ロックアームを使用して天井に埋め込む場合、防水防塵性能はありません。

方法 2: 壁面に設置する場合

- ① 必要に応じてボトムケースのスクリーホール(底面または側面)を使用し、配線して接続します。その後、付属のスクリーおよび設置場所に取り付けられたスクリーアンカーでボトムケースをしっかりと取り付けます。
- ② シリカゲルを袋から取り出し図の位置に入れます。
 - ・ 添付の両面テープを図のように貼り、シリカゲルを貼ってください。



ご注意

- ・ シリカゲルはアルミパックで覆われていますので、アルミパックからシリカゲルを取り出して使用してください。
- ・ シリカゲル装着後は速やかにカメラユニットを組み立てて映像確認後ドームカバー部を取り付けてください。
- ・ 雨の日や、湿度の高い環境での設置工事やメンテナンスなどでドームカバーを開閉すると、その後の気温変化でドームカバーがくもることがあります。シリカゲルは、必ず入れてください。

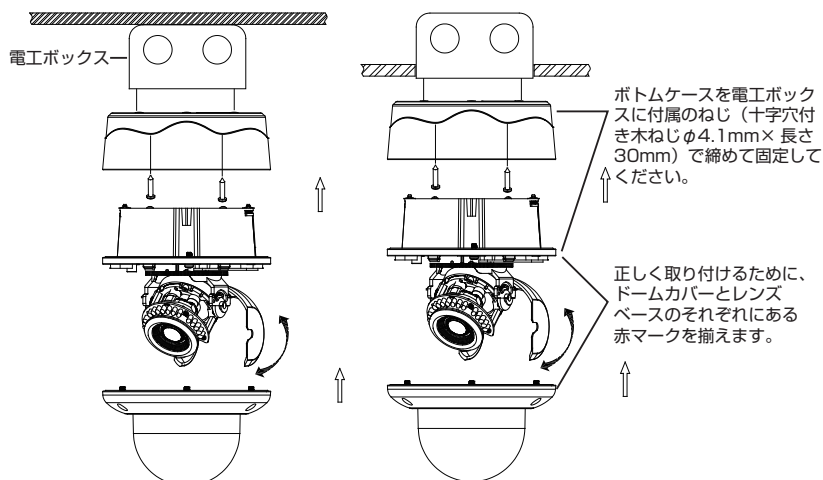
シリカゲル品番:LW40500-001A

- ③ ボトムケースとカメラユニットの上部それぞれに赤マークがあり、それを見ながら揃えます。赤マークを使って正しく並べた後、レンチ(付属)を使ってカメラユニットをボトムケースに(ねじ x 3 個)しっかりと固定します。
- ④ フォーカス位置は、カメラユニットを回転して撮影しながら調整します。ボトムケースのスクリーホール(側面)上で、レンズが回転しないように注意してください。
- ⑤ インナードームがカメラユニット上に収まった所で取り付けます。
- ⑥ ドームカバー(内部)とカメラユニットのそれぞれにある赤マークを揃えて取り付けます。
- ⑦ ドームカバーの 3 つのねじを、レンチ(付属)を使用して締めて設置完了となります。

メモ

- ケーブル類はスクリーホール(底面または側面)から引き出してください。
 - ケーブルの引き出しに使用するスクリーホールには配管(M25)などを使用してください。
 - ケーブルの引き出しに使用しないスクリーホール(底面または側面)は、スクリーホールプラグ(付属)で適切にふさいでください。
 - チルト 45°以上でローテーションさせて使用する場合、付属のシート(黒色)をドームカバー内部に貼り付けてください。このとき、ドームカバー内側の段差が隠れるようにシートを貼ってください。シートを貼らないと、赤外光の反射によって映像が白く光って見えることがあります。
 - スクリーホールとねじを取り付けた穴に防水シールを施してください。(GE シリコン)
 - スクリーホールとねじ取付穴は完全にふさぐようにしてください。水や湿気が入り込み、レンズやドームカバーがくもる場合があります。
 - 雨が降っているときに取り付ける場合は、雨が本機に浸入しないようにご注意ください。
 - 本機内部を除き、接続されるケーブル類はすべて防水テープ(融着)などで確実に防水処理を行なってください。
 - 落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁できるように接続してください。天井構造物が金属の場合、カメラとの絶縁をとらないと映像にノイズが入ることがあります。
-

方法 3: 電工ボックスに設置する場合

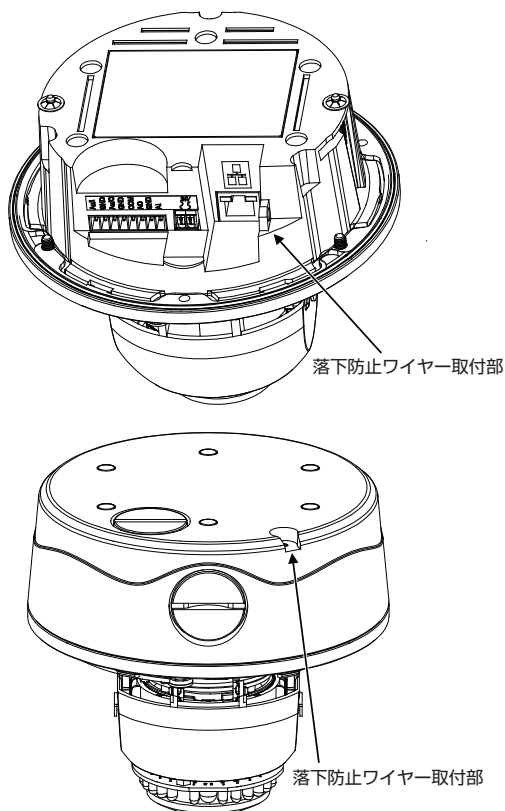


- ① 電工ボックスにケーブルを結束して、ボトムケースのスクリューホール(底面)から配線します。
- ② 方法 2 の手順 2 をご参照ください。
- ③ ねじを締めて、ボトムケースを電工ボックスに固定します。次に配線して接続します。
- ④ ボトムケースとカメラユニットの上部それぞれに赤マークがあり、見ながら揃えます。赤マークを使って正しく並べた後、レンチ(付属)を使ってカメラユニットをボトムケースに(ねじ x 3 個)しっかりと固定します。
- ⑤ フォーカス位置は、カメラユニットを回転して撮影しながら調整します。ボトムケースのスクリューホール(側面)上で、レンズが回転しないように注意してください。
- ⑥ インナードームがカメラユニット上に収まった所で取り付けます。
- ⑦ ドームカバー(内部)とカメラユニットのそれぞれにある赤マークを揃えて取り付けます。
- ⑧ ドームカバーの 3 つのねじを、レンチ(付属)を使用して締めて設置完了となります。

メモ

- 電工ボックスを使用してボトムケースのスクリューホール(底面)から配線するときは、スクリューホール(側面)は適切にスクリューホールプラグでふさいでください。
- チルト 45°以上でローテーションさせて使用する場合、付属のシート(黒色)をドームカバー内部に貼り付けてください。このとき、ドームカバー内側の段差が隠れるようにシートを貼ってください。シートを貼らないと、赤外光の反射によって映像が白く光って見えることがあります。

- 落下防止ワイヤー(付属していません)の一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部に接続してください。次の図は、以下のように異なる設置方法(埋め込み設置または壁面設置)に応じて、対応する落下防止ワイヤー取付部に落下防止ワイヤーを接続してください。



ご注意

- 落下防止ワイヤーは確実に取り付けてください。
- 落下防止ワイヤー取付ねじは紛失しないようご注意ください。
- 上の図では落下防止ワイヤー取付ねじを図示していません。
- microSD カードを本機に挿入する際は、本機の電源を切った状態で挿入してください。

メモ

microSD カードを取り出すときは、[設定] - [記録設定] - [SD カード記録]を“OFF”にし、本機の電源を切ってから取り出してください。microSD カードを軽く奥に押し込んでください。ロックがはずれて取り出せます。

カメラの向き調整

以下の手順で画角を調整します。**MONITOR** 出力端子にテストモニターを接続し、映像の確認にご使用ください。

- **パンの調整(A)**

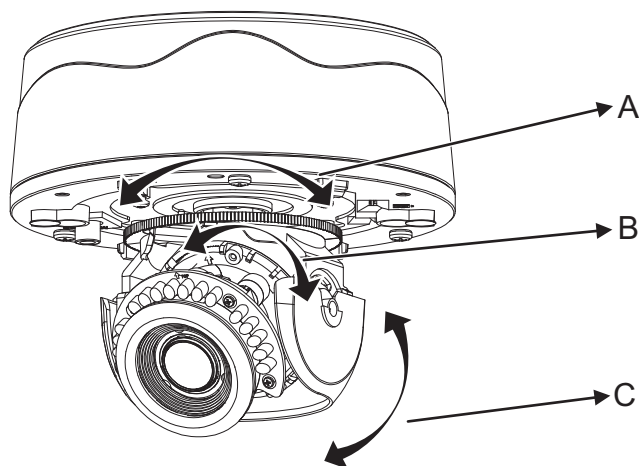
カメラユニットは、満足する視野まで(最大 354°)回転できます。ボトムケースのスクリーホール(側面)上で、レンズが回転しないように注意してください。

- **ローテーション(B)**

カメラユニットのカメラ部を回転するときは、 354° 以上に回転させないでください。内部のケーブルがねじれたり、はずれたり、または破損することがあります。

- **チルトの調整(C)**

ねじを緩めた後、レンズの角度を調節します。その後ねじを締めて固定しカメラを配置します。



ご注意

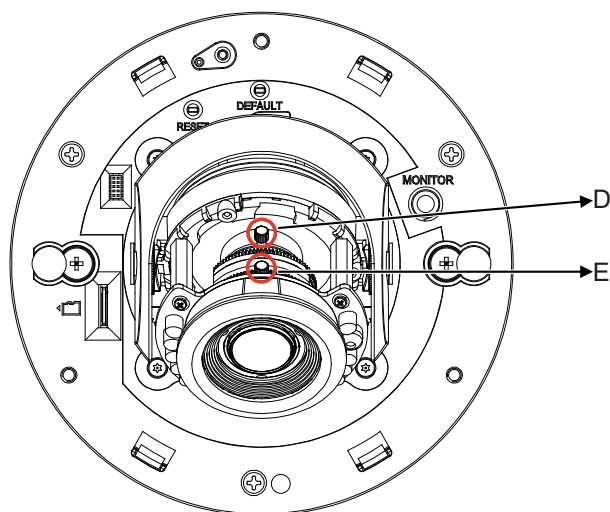
3 軸の可動範囲:

- パンの可動範囲: $+164^{\circ} \sim -190^{\circ}$
- ローテーション範囲: $\pm 177^{\circ}$
- チルトの可動範囲: $0^{\circ} \sim 80^{\circ}$ (底面に対し垂直となる方向が 0°)

メモ

- チルト約 70° 以上でローテーションすると、赤外 LED がカメラ本体に隠れて照射距離が短くなる場合があります。
 - 画像サイズを広角端で使用した場合、チルト最大付近でカメラ本体の一部が映り込みます。このとき、赤外光の反射によりカメラ本体が白く光って見えることがあります。カメラ本体が映り込まないようにチルトを調節してください。
-

ズーム・フォーカス調整



- ズームレバー/固定ねじ(D)は反時計回りに回して緩めます。ズームリングを回してズームを調整します。
- フォーカスレバー/固定ねじ(E)は反時計回りに回して緩めます。フォーカスリングを回してフォーカスを調整します。
- 再調整が必要な場合は、上記の手順を繰り返してください。
- 終了したら、ズームレバー/固定ねじ(D)とフォーカスレバー/固定ねじ(E)を締め直してください。

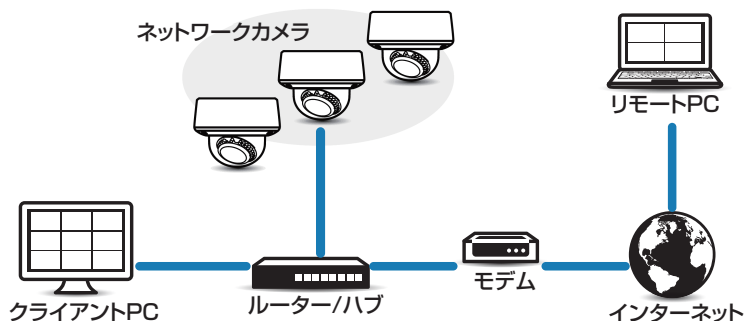
メモ 2つの固定ねじは、緩まないようにしっかりと締めてください。

カメラの固定

ドームカバーの指紋などは、柔らかい布で拭いてください。3つのねじを締めて、カメラユニットをボトムケースに固定してください。次に、ドームカバーの3つのねじを締めて固定します。電源は、設置した後に入れてください。

ネットワーク構成

本機にはイーサネット RJ-45 ネットワーク・インターフェースが備えられており、インターネットやイントラネットによって音声と動画をリアルタイムで送信することが可能です。以下の図はネットワーク構成を示しています。



動作環境

以下の表は本機の使用に必要な最小限の動作環境を示しています。この環境を満たすハードウェアやソフトウェアの使用をおすすめします。

システムハードウェア	
CPU	Intel Core i5-3570 Processor 3.40 GHz 以上
RAM	4 GB 以上
ディスプレイ	1920×1080 ピクセル以上、True Color(24 ビット/32 ビット)
システムソフトウェア	
オペレーティングシステム	Windows 7 (SP1)(32 ビット/64 ビット)、Windows 8(32 ビット/64 ビット)、Windows 8.1(32 ビット/64 ビット)
ブラウザ	Internet Explorer version 9(32 ビット)、Internet Explorer version 10(32 ビット)、Internet Explorer version 11(32 ビット)
電源	
電源	AC 24 V / PoE (IEEE 802.3af クラス 0)
ネットワーク	
有線	10/100BASE-T イーサネット(RJ-45 コネクター)

メモ 本機の設置と操作は、ご使用になる国や地域で適用されている電気安全基準にしたがって行なってください。

ご注意 本機の破損を防止するため、同時に複数の電源 (PoE (IEEE 802.3af クラス 0)、AC 24 V) に接続しないでください。また、AC 24 V 電源を使用する場合は、商用電源と絶縁された電源を使用してください。誤って使用した場合、内部回路を破壊する可能性があります。PoE をご使用になる場合は、PoE ネットワークの接続にルーターや異種の機器を使わないでください。

接続

IP アドレス(工場出荷値)

本機はネットワーク接続を前提としていますので、IP アドレスを最初に割り当てる必要があります。本機の IP アドレスは初期設定で **192.168.0.2**、またサブネットマスクは **255.255.255.0** となっています。ただし、ネットワークに DHCP サーバーをご使用の場合は、サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられますので、カメラの IP アドレスを変更する必要はありません。“ネットワーク”で DHCP サーバーを有効にしてください。

コンピューター接続および画像確認の準備

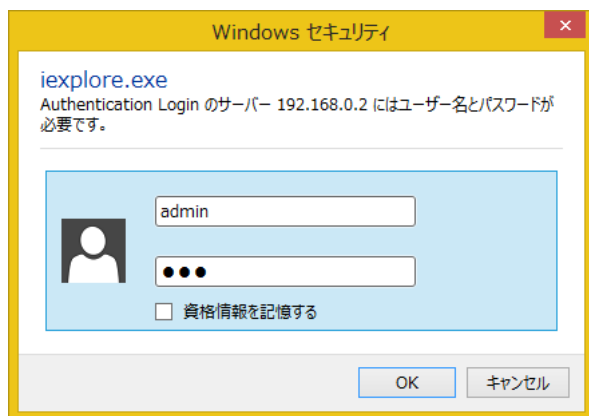
この手順の説明は、以下の環境で行なっています。

オペレーティングシステム: Windows8.1

ブラウザ: Internet Explorer 11

コンピューターへの接続

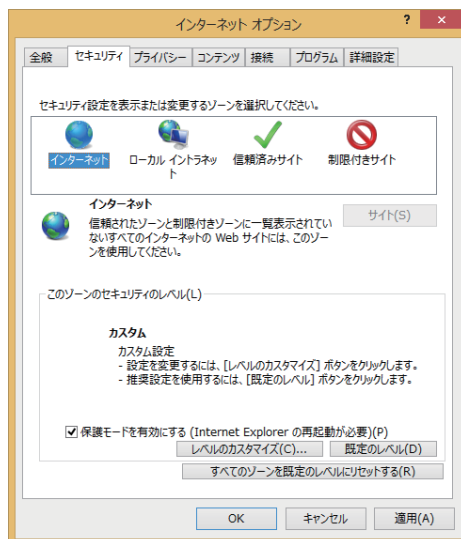
1. 本機とコンピューターが同一のサブネットにあることを確認してください。
2. デフォルトの IP アドレスを使って本機とコンピューターがネットワーク接続されていることを確認してください。スタート画面上で画面下部に表示された「↓」アイコンをクリックすると、アプリ画面が表示されますので、その中から「コマンドプロンプト」を選択します。“ping 192.168.0.2”と入力し、ネットワーク接続されていると、“~からの応答”というメッセージが表示されます。
3. Internet Explorer を起動して IP アドレスに **192.168.0.2** を入力します。ログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードに、それぞれ初期設定の **admin**、**jvc** を入力してください。
本機の設定については、取扱説明書(付属の CD-ROM 内)に記載されている“管理・設定”ページをご覧ください。



画像確認の準備

本機が撮影する画像は複数のブラウザで確認することが可能です。画像の確認には、以下の手順で表示を有効にすることが必要です。なお、この手順は Windows8.1 を使用したものです。

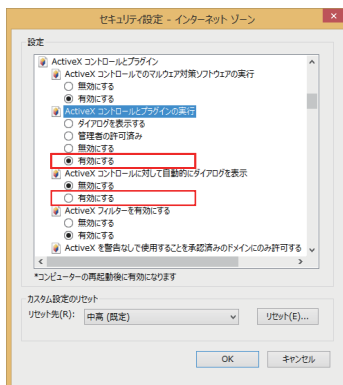
1. Cookie を有効にしてください。
 - Internet Explorer で、**ツールメニュー**にある**インターネットオプション**をクリックしてください。
 - **プライバシー**タブでスライダーを**低**または**すべての Cookie を受け入れる**に設定します。
 - **OK** をクリックしてください。
2. プロキシサーバーを使用する場合は、Internet Explorer のツールメニューで**インターネットオプション**をクリックします。**接続**タブを選択して**LAN の設定**をクリックし、プロキシサーバーの設定を行なってください。
3. セキュリティ設定を下記のように変更してください。
 - ツールメニューで**インターネットオプション**をクリックしてください。
 - **セキュリティ**タブを選択します。
 - インターネット内でカメラを操作する場合は**インターネットアイコン**をクリックします。
 - イントラネット内でカメラを操作する場合は**ローカル イントラネットアイコン**をクリックします。
 - **レベルのカスタマイズ**をクリックする。セキュリティ設定－インターネットゾーン画面が開きます。



- ActiveX コントロールとプラグインを以下のように設定します。

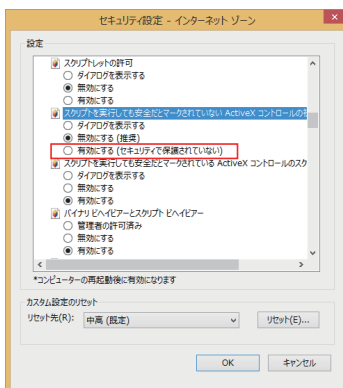
[ActiveX コントロールとプラグインの実行] ➔ 有効にする

[ActiveX コントロールに対して自動的にダイアログを表示] ➔ 有効にする



[スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行] ➔ ダイアログを表示する

[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行*] ➔ 有効にする



SD カードについて

- 本機で使用可能な microSD カードについて
 - Class10 以上対応の microSDHC/SDXC カードで動作保証温度 85°C 以上のもの
下記 microSD カードは本機に接続して動作確認を行なっております。
 - SanDisk SDSDQU-032G-J35A
 - SanDisk SDSDQX-064G-J35PA
 - 東芝 MU-B064GX

※ 上記条件を満たす microSD カードすべての動作を保証するものではありません。

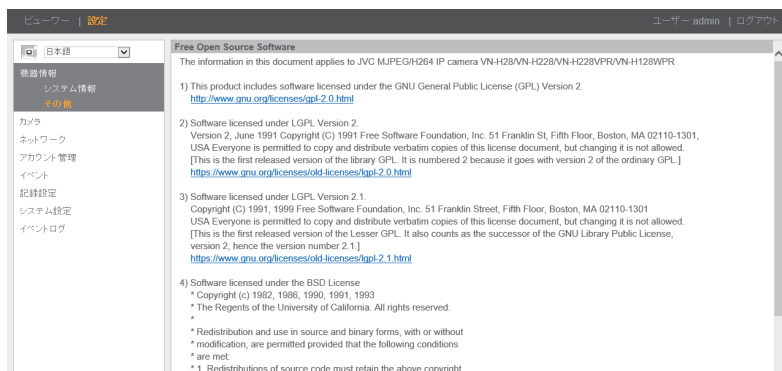
※ 本機に非対応の SD カードを使用した場合、記録設定できても正常に記録できない場合があります。

ご注意

- 本機では microSD カードをフォーマットできません。
フォーマットするときは SD Association が配布する SD フォーマッター (4.0 以降) を使用して microSD カードをフォーマットし、本機に挿入してください。
SD フォーマッターは、以下のサイトから入手できます。
<https://www.sdcard.org/jp/downloads>
- microSD カードを取り出す際は、“SD カード記録”を“OFF”にし、本機の電源を切って取り出してください。

その他

本機に含まれるフリーオープンソースコードソフトウェア(FOSS)の情報が表示されます。
全文はウェブブラウザ画面で確認してください。(以下の図は冒頭のみ表示しています)



こんなときは

症状	原因と対応
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> クライアントパソコンが HTTP でカメラへアクセスする場合のポート番号の指定は合っていますか？（ポート番号が間違っている場合は、ビューワーの各種メニューは表示されますが、映像は表示されずに“接続に失敗しました”と表示されます。） ➡ ビューワーの HTTP ポートの値に、カメラのプロトコルページの HTTP サーバーポートと同じ値を指定してください。
PoE 給電機器で電源供給しても、電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● PoE(IEEE802.3af 準拠)給電機器とカテゴリ 5e 以上/100m 以下の LAN ケーブルで接続していますか？ ➡ ケーブルを確認してください。PoE 給電機器(ハブなど)によっては、供給できるトータル電力の制限を越える台数の PoE 端末機器を接続すると、電源を供給しないものがあります。PoE 給電機器の取扱説明書をご覧ください。
カメラの IP アドレスがわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時から変更していない場合、IP アドレスは 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 ● [IP 設定] が“DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合は、工場出荷時の IP アドレスで起動します。 ➡ 同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、“JVC-VN 検索ツール”を使用して検索してください。
外部マイク音声聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● マイクとの接続をご確認ください。 ● 音声の設定が OFF になっていませんか？ ➡ 取扱説明書の[管理・設定]➡[設定]➡[システム設定]➡[音声]をご覧ください。
映像表示がなめらかではない	<ul style="list-style-type: none"> ● CPU やメモリーの負荷変動、ネットワークのジッターなどの要因によって、カメラからの映像がなめらかに見えない場合があります。また、microSD カードの記録中は、配信能力が低下する場合があります。 ➡ [フレームサイズ]、[フレームレート]、[ビットレート]を下げた映像を確認してください。
microSD カードが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ➡ microSD カードの向きを確認してください。

保証とアフターサービス

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品は保証書をクイックユーザーガイド内に記載しております。
製造番号は、クイックユーザーガイド(冊子)内の保証書に記載または貼付されています。
製造番号、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

ご注意 製造番号が記載または貼付されていない保証書は無効となります。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容によって、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償いたしません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望に応じて有料にて修理いたします。

サービス窓口

- 下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- カスタマーサポートセンター (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	: 耐衝撃ドーム型 HD ネットワークカメラ
型名	: VN-H228VPR
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

保証書について

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、及びその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

本書は、本書記載内容で、無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取り扱いについての説明書及び本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、及び本書に記載の字句（製造番号など）を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
 - (7) 特殊な環境条件下での故障及び損傷。
 - (8) 各部の点検又は定期保守の費用。
 - (9) 消耗品（電池、カメラの撮像素子、ランプ、モーター、HDD、液晶パネルの経時による劣化や残像や焼付け、表示ムラ、及び取扱説明書に記載されている消耗部品など）の部品代、交換技術料。また、1年間を超える保証期間の場合、お買い上げ日から1年間経過後は、上記消耗品の他にカメラ付属のレンズ組立も有料になります。
 - (10) 出張修理対象商品の場合。
離島及び離島に準する遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - (11) 持込み修理対象商品の場合。
修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担とさせていただきます。
4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。尚、故障、その他による営業上の機会損失や記録内容等ソフト内容の補償は致しかねます。この保証書によって（株）JVCケンウッド・公共産業システム、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちに お買い上げ販売店にお申し出ください。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合や、ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
5. 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。ご不明の場合は、お買い上げの販売店又はJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

JVC

JVC 視聴覚/情報機器保証書

業務用

型名

VN-H228VPR

製造番号

「」

* お客様のお名前 ふりがな

様

* ご住所

□□□□ - □□□□

* お電話

-

-

* お買い上げ年月日

年 月 日

保証期間

お買い上げ日から
本体 1年間

但し、消耗品は保証対象外とします。

お買い上げ場所
店名

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話



0120-2727-87

携帯電話・PHS



0570-010-114

一部のIP電話など

045-450-8950

FAX

045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口における
お客様の個人情報、
お問合せへの対応、修
理およびその確認に
使用し、適切に管理を
行い、お客様の同意な
く個人情報第三者に
提供または開示す
ることはありません。

お問い合わせ先：JVCケンウッドカスタマーサポートセンター



0120-2727-87



0570-010-114

携帯電話・PHS・一部のIP電話などからのご利用は045-450-8950

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022

神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12